



①発信する ②追究する ③粘り強く ④つながる ⑤思いや願いを実現しようとする ⑥課題解決する

毎日毎回 こつこつと

校長 坂本 陽子

4月号の冒頭でうぐいすの声が聞こえる初音が丘小学校というお話をしましたが、本校の校歌の1番には、「♪ 春は うぐいす 藤の花 ♪」というフレーズがあります。うぐいすは、親鳥の鳴き方を真似して、子どもの鳥が鳴く練習をしているから「ホ～ホケ・・・」「ホ～～～・・・」というように途中で止まったり、終わったり、繰り返したりすることがあるということを知りました。きっと、たくさん練習して親鳥のように上手になっていくのでしょう。

令和6年度がスタートして1か月が経とうとしています。きっと今は、教室や先生、友だちと出会い、少しずつ新しい環境に慣れていく毎日を送っているのだと思います。朝、門に立っていると自分から挨拶をする子がたくさんいることにとても嬉しい気持ちになります。自分から挨拶のできるお子さんは、笑顔であることが多いように感じます。校内で出会う時にも、「こんにちは」と挨拶をしたり、「校長先生～」と声をかけてくれたりします。挨拶は、「おはようございます」「こんにちは」の他にも場面によって色々ありますが、コミュニケーションの第一歩だと言われています。人と繋がるときに笑顔で挨拶から入ると、その印象と共によりよい関係性と信頼を作っていくことができるのではないのでしょうか。

4月12日金曜日からは、給食が始まりました。メニューは、ご飯、牛乳、生揚げのそぼろ煮、磯かあえでした。1年生は、準備する時間をしっかりとって白衣に着替えることや配膳の仕方について学んでいます。時間内に食べることもできるようになってきました。2～6年生は、準備や食べる時間のマナー・ルール、片付けの方法等は知っていると思いますが、改めて確認をしながら安心して安全な給食の時間になるようにしています。

牛乳はパックでの提供ですので片付けとしては、ひと手間あります。まず牛乳パックを開くことです。これは、慣れない段階では時間のかかるところです。開くときに固いところがありますから、指先の力も必要です。1年生の初めは、6年生が開け方のコツを教えに教室に来てくれます。お兄さん、お姉さんは、1年生ができるようになるために全てをやってあげるのではなく、できるようにコツを伝え、教えるスタンスです。こうして、毎日のように続けていくと一人でもできるようになります。できることが一つ増えるのは、自信にもなります。ゆっくり、こつこつ、できることを増やしていきましょう。

挨拶、給食のように、学校生活を送る中で毎日、毎回も行うことがこの他にもたくさんあります。毎日、毎回繰り返すことで、それが習慣となり、身についていきます。小学校の6年間は、心も体も柔軟な時期です。よい習慣が身につくように、繰り返すこと、練習や準備をすることを大切にしてほしいと思います。



～すべては、子どもたちの笑顔のために～

